

今週のモーニングセミナー報告

令和5年8月25日（金）の講話 <第624回>

テーマ：日本ミツバチのおもしろ話

講話者：東かがわ市少年少女発明クラブ 会長 長谷川誠二様

10年以上前になりますが、平賀源内旧邸に行った時、長谷川先生手作りのピアノやバイオリン、フクロウなどの木工の時計が壁一面に飾られていて、旧邸の見学よりそちらに魅了されました。フクロウの時計を購入する事になって、作者の長谷川先生のお宅を訪ねました。お家の中も手作りの品などがたくさんあって、とても素敵な空間でした。

パソコンとプロジェクターの繋ぎのコードトラブルで PowerPoint が途中からになりましたけど、PowerPoint をみながらだにより分かりやすくてあっという間の時間でした。

ニホンミツバチを飼い始めて8年になるそうですが、野生のニホンミツバチを飼う苦労話や、働きバチが生まれてから死ぬまでの仕事の変化など、興味深いお話をたくさん聴くことができました。生物の授業で蜂のダンスは習った記憶があります。授業ではほんの触りだけの話でしたので、今回詳しく聞くことができて勉強になりました。蜂に学ぶことも多くて良かったです。

講話が終わって、倫友の一人が「蜂を飼いたいです。教えてください。」とお願いしていたので、香川でニホンミツバチを飼う人が増えて、美味しいハチミツが食べられる機会が増えたら幸せですね。是非多くの方に飼って欲しいと願っています。秋のハチミツ収穫の時は、私も一つ購入させてください。楽しみに待っています。貴重なお話をありがとうございます。

担当者:網 千代美

蜜蜂の味に魅せられて日本蜜蜂の生態に興味を持った長谷川誠二様の講話でした。

地域やその時期によって蜂蜜の味も違うそうです。

一匹の蜂の一生に集められる蜜量は、小さめのスプーン1杯分ほどの量で、その間に飛ぶ飛行距離は約1万kmだそうです。小さな体で蜂蜜の社会で一生懸命生きている事を知れました。

二度とない人生だからこそ私も1日1日が一本勝負、本日の元気に楽しみます♪

担当者:村上純平

働きバチの一生は名前のごとく働くために生まれてきたといっても

過言ではないものです。生後すぐにコロニーの掃除から始まり早々に

蜜の収集。相当な距離を飛び回り作業分担して暮らすようです。

決してまねできるようなものではありません。ですが日本ミツバチのように

ではないですが、趣味が仕事にならなければならない。そういった方がいらっしゃいます。

仕事はそれぐらい尊いもので好きにならなければならないという意味です。日本ミツバチ

のように喜働で参りましょう！今年度も会友の皆様には大変お世話になりありがとうございました！

今週より R6 年度がスタート致します。

本年度「明るく正しく自己革新！時代を紡ぐ和の実践！」のスローガンのもと

先人の恩に新たな時代を重ね合わせ、和やかに皆様と共に革新してまいります！

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会長：砂川 昌幸

※次回のご案内

<モーニングセミナー>

9月1日（金）朝6：00～7：00 会場：じゃこ丸パーク津田（旧クアパーク津田）

テーマ：令和6年度役職者挨拶

講師：令和6年度役職者と各運営代表委員の皆さま

出席社数 14社 14名

香川県さぬき市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000 / FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp